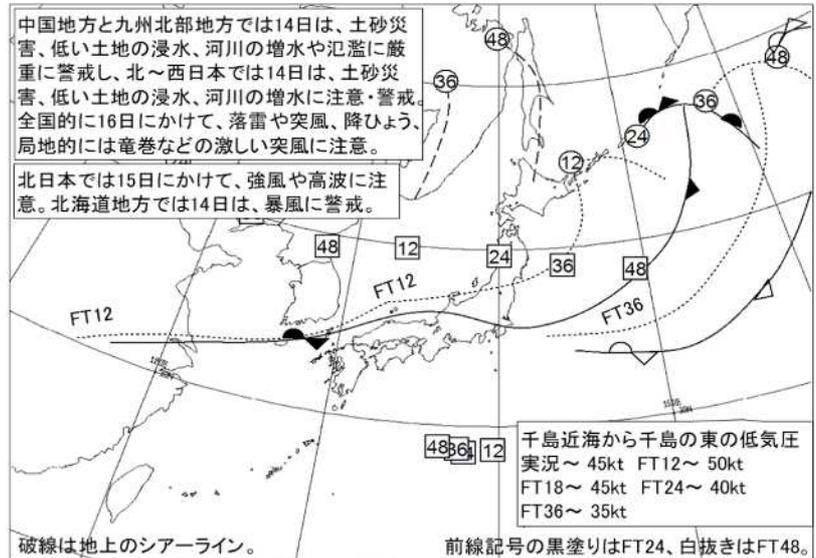


1. 実況上の着目点

- ① 前線が華中～対馬海峡～北日本～日本の東へのび、前線上の北海道地方を低気圧が東北東進。前線や低気圧近傍で雷を検知、非常に激しい雨を解析。北日本で竜巻注意情報を発表。西日本日本海側では前線の活動が活発で激しい雨を解析し、土砂災害警戒情報を発表。気圧の傾きが大きく、強い風や非常に強い風が吹き、しけとなっている所がある。
- ② 高気圧が日本の南にあってほとんど停滞。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は14日夜には千島近海へ進み、前線は14日は本州付近を南下する。北日本では前線や低気圧に向かう下層暖湿気や上空寒気の影響で、東～西日本では前線や低気圧に向かう下層暖湿気や日中の昇温の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。特に九州北部では14日朝にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性がある。中国地方と九州北部地方では14日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に嚴重に警戒。北～西日本では14日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に警戒・注意し、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうにも注意。
- ② 1項②の高気圧は、16日にかけて日本の南をゆっくりと西に移動する。また、500hPa 5760m付近のリッジに対応した高気圧が14日夜から15日夜にかけて日本海から日本の東に移動する。西～東日本は高気圧に挟まれて気圧の谷となり、下層暖湿気の流入や日中の気温上昇の影響で大気の状態が不安定となる所がある。西～東日本では15日と16日は、落雷や突風、短時間強雨に注意。西～東日本では16日にかけて、晴れて気温が上昇し猛暑日となる所がある。熱中症に注意(熱中症警戒アラート参照)。
- ③ 日本の南にある上層寒冷低気圧(UCL)が、15日にかけて南西諸島付近に進む。2項②の高気圧縁辺を回る下層暖湿気や上空寒気の影響で、南西諸島では16日にかけて、大気の状態が不安定となる所がある。落雷や突風、短時間強雨に注意。
- ④ 15日夜はサハリン付近に低気圧が進み、低気圧からのびるシアーラインが北海道地方を通過し、大気の状態が不安定となる所がある。北日本では15日は、落雷や突風、降ひょうに注意。
- ⑤ 14日は、2項①の低気圧や前線の影響で、強い風や非常に強い風が吹き波が高くなりしける所があり、15日は、2項④のシアーラインの影響で、やや強い風や強い風が吹き波が高くなる所がある。北日本では15日にかけて強風や高波に注意し、14日は暴風に警戒。東日本では14日は、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量子想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】

- ① 雨量(06時からの24時間)：九州北部100mm。
- ② 波浪(明日まで)：北海道5、東北・北陸3m。
- ③ 高潮(明日まで)：北～西日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

「大雨と雷及び突風に関する全般気象情報」を5時頃に発表予定。